

る
主

日本初の医療ソーシャルワーカー 浅賀ふさ

現代の道しるべ 書籍発売へ

日本福祉大 CF 募る

日本初の医療ソーシャルワーカー(MSW)、浅賀ふさ(1894~1986年)の生涯を描いた書籍が今月、発売される。浅賀が教授を務めた日本福祉大(愛知県美浜町)は全国の中学・高校に寄贈しようとクラウドファンディング(CF)を募っている。

MSWは病院などに所属し、患者や家族が抱えるさまざまな心理的、社会的な問題に患者側の立場に立ち

解決や調整に当たる。

同県半田市出身の浅賀は日本女子大卒業後に渡米し、医療社会事業や教育学を学んだ。1929年に帰国後、聖路加国際病院(東京)で日本初のMSWとして勤務。女性運動家の市川房枝らが結成した「婦選獲得同盟」で女性参政権運動に尽力し、女性の地位向上にも貢献した。53年に日本福祉大(当時は中部社会事業短大)が創立されると、21年間教壇に立った。

書籍は23年の学園創立70周年記念で放送されたラジオドラマ「さいしょの一步 浅賀ふさ物語」(CBCラジオ制作)の脚本が基となってい



⑤教壇に立つ浅賀ふささん出版予定の「さいしょの一步 浅賀ふさ物語」いずれも日本福祉大提供



る。ラジオドラマは俳優の竹下景子さんと声優の戸松遥さんが浅賀役を務め、31日まで同大特設サイトから無料で聴くことができる。

書籍では当時の時代背景などを紹介するコラムも収録。CFにより、県内の全中学・高校と福祉科を持つ全国の高校や関係団体など計約1000

カ所に配布する予定だ。同大は「彼女の生涯は今の日本の福祉や医療に携わる人にとって大きな道しるべになる。多くの人に知ってほしい」と呼びかけている。

目標金額は145万円。28日までCFサイト「キャンプファイヤー」で募っている。【川瀬慎一郎】